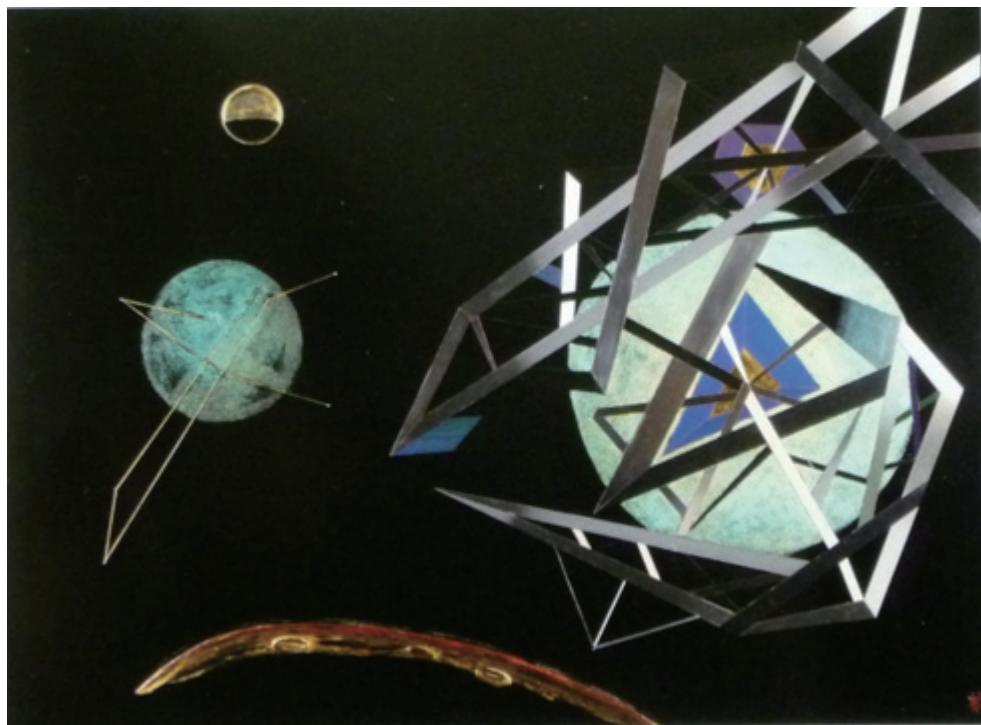




さわやか

題字 安藤紫水氏揮毫

NO. 49 新年号
2016年1月発行
栄区文化協会
<http://sakae-bunkyo.com>



文協設立 20 年を語る
会長、副会長 … 2 頁
特集 1 栄区民芸術祭 2015
… 3 ~ 6 頁
特集 2 第 20 回さかえ春の
文化祭イベント紹介
… 7 ~ 8 頁

未知への宇宙

栄区美術家協会
漆芸 赤堀 郁彦
日展 会員

明けましておめでとうございます

栄区文化協会 会長 風間 憲彦

今年二月、栄区文化協会は 20 歳になります。

めでたくこの年を迎える事が出来、心から感謝し、みんなで一緒に祝い合いたいと思います。

そして栄区は、区制 30 周年記念行事を全区を挙げてスタートさせて居り、文協は既にその輪に加わり、得意の分野においてそれらイベントの一端を担って居ります。

“文化”の本質は、耕された土壌でじっくりと育てられて成熟するものですから、今の文協は成長期辺りに位置しているのかと感じています。頗もしい成長時機でもあります。

世の中は、今年もあれこれ浮沈変動するでしょうが、もの造り、こと作りを通じて芸術・文化を体感・吸収しながら、一年間を楽しく健康に過ごしましょう。



栄区文化協会のますますの発展を祝って

栄区長 尾仲 富士夫

新年あけましておめでとうございます。

栄区文化協会の皆さんには、秋の芸術祭や春の文化祭、各単位協会の活動等を通して、区民の方々が身近に文化の息吹に触れる機会をお作りいただいておりますこと厚くお礼申し上げます。

栄区は本年 11 月に区制 30 周年を迎えます。栄区は文化活動がとても盛んな区であり、これは、20 周年をお迎えになる栄区文化協会の皆さんのが、これまで一つひとつ積み重ねてこられた成果の賜物であると深く感謝しております。

年にあたり、栄区文化協会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、これから先も栄区の発展のため、栄区文化協会の皆さんとともに歩んでまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



栄区文化協会設立 20 周年にあたり

栄区文化协会会长 風間聰彦、副会長 志岐美玉 濑畠久美子

「文協設立 20 周年」をテーマに会長風間聰彦、副会長志岐美玉、瀬畠久美子が語り合いました。



A. 温故而知新（おんこちしん：古きをたずねて新しきを知る/論語）という言葉に沿って進めましょう。先ず、「温故」から…

A. 文協 20 年、栄区制 30 年ですが文協メンバー 160 余の活動グループの中には 35 年以上の団体、また結成後数年の団体がありますが、総じて言えば自由闊達に活動し、スムーズに運営して来ています。

B. 何かが起きても大人の集団ですから。何とかしてきましたね。

C. 有形・無形の応援、協力も大きなプラス要因でしたね。

A. 行政や地域団体との関係では、横浜市の他区には見られない特長があると思いますが、これも 20

年間真面目に精進し、汗を流してきた“たまもの”でしょう。

C. ギャラリーや舞台などの施設も、数、量、使用性の面で恵まれている、と言えますね。

A. これも他区と比べて便宜を受けて来ていますが、このバランスは継続していきたいです。

その為には、日常活動に福祉的或いは生涯学習的な分野を付け加えるなどで文協の存在、活動を一層広く認識して貰うことがプラスに成るでしょう。

A. 「知新（新を知る）」では何が見えますか。

B. 去年と今年は時間が継続していますが、創作内容はいつも新しくなります。

A. 禅問答の様ですが、新しいものの中にもう一つの発見があるでしょう。化学の研究ではないので新発見でなくてもいいのです。「新しい」は「面白い、楽しい、これは何？」に通じます。形としては、A.B.C が A+B、A×B、(A+B)×C とかの組み合わせで、かなりの「新しさ」を演出できると思いますよ。



コンサートで
(瀬畠)

C. コラボは、演ずる人にも観る人にも期待と緊張感を持たせますね。

B. そう、AB 双方にハッと気づかせる何かがありますね。

A. それは、A と B の間に有るのでよ。神（真理）は細部に宿る、と言いますから。

A. 体験教室は文協活動の有力な底辺拡大の方法です。

5, 6 年前栄区主催の「アート知り隊」事業を、文協が企画・実施を担当し、小・中学生の興味、関心をしっかりと捉えた実感がありました。

C. それを単位協会で継続的に企画出来るといいですね。

A. 運営面ではどうでしょうか。役員の負担が重いと新しい人が出て来にくい、との声が有ります。

一概には言えませんが、年齢、経験、趣味などが多くなるほどアイデアの展開も多彩になります。

B. 会合を減らす方策があれば、改善への道ですね。

A. お膳立ては出来ています。常任理事会の議事録活用とメールでの伝達で、会合は半減しますよ。

B. 芸術祭などイベント関連の制作物も、「品位、品格、アート性」など文協の目線が定まり、やり易さは勿論、品質面でも迷いが無くなりましたね。

C. 「ちらし」の配り方として、役員がご近所を廻ってポステイングした話もあります。

B. 受ける側は様々ですから。気配りが要りますね。知り合い、顔見知りの家とかね。

C. 雨天の日は避ける、ちらしにひと書き加えたり、自分の名を入れたりですね。

A. そこまで行けば、熱意も伝わり効果があるでしょう。継続できれば最高です。

C. 全く別の話ですが、この頃無いのが忘年会。曾てはバス旅行や一泊旅行もありました。

A. ううーん、それも温故而知新ですね。



生け花子供体験教室で
(志岐)

特集1 栄区民芸術祭2015

《創作・教養》

フォトSAKAE写真展 (10/14~10/18) リリス

天候に恵まれた芸術祭写真展は、4日半の開催でしたが666名の入場者数という今までにない多くの方のご来場に会員一同喜びと興奮の写真展でした。



それぞれの写真グループの特徴が出た作品が多く、どのグループもレベルアップしたことをお互いに確認することが出来ました。ご来場者からも作品についてのお褒めの言葉を頂きました。フォトSAKAEとして一步前進して、会員間のコミュニケーションを取ることが出来ました。

フォトSAKAE 野仲加津子

陶芸展 (10/14~10/18)

リリス

今年は会場に花を飾り、華やかにして、昨年より入場者も増えました。毎年来てくださる方から「みなさん上達しましたね」とか、「ろくろの上手な人がいますね」と声をかけていただきました。



また、体験教室の陶芸ではお子さんたちが、作った作品をお母さんに焼いてほしいとせがんだりして、親子のほほえましい会話がありました。

そして、施設「朋」のお母さん達が「ふる里」のテーマで紺色の布を川に見立てその周りを水車の家、合掌造りの家など昔懐かしい家並みと風景を再現し、来場者の目を楽しませ、好評でした。

さかえ陶芸協会 川井綾子

書道展 (10/20~10/24)

リリス

本書道展の案内広告が2度にわたって全国紙書道美術新聞の「全国展覧会情報」欄に掲載されました。そして、同紙記者が書道展を初めて観賞されました。今回、本書道展は会期を通しておよそ4人に1人が区外の来観者で占められました。今後ますます本書道展が広域の人達にも注目されるよう、更に質の高

い優れた作品が展出されることを期待します。

一方、例年人気を集める「書・篆刻の年賀状体験教室」では、定員を上回る受講者の皆さんが高い思いで年賀状や刻印を創り上げました。



栄区書道協会 柳田煌海

美術展 (10/25~10/29)

リリス

会期の5日間は、行楽の秋・読書の秋・食欲の秋・スポーツの秋そして芸術の秋、秋真っ只中横浜市内・栄区内で様々なイベントが開催された期間でした。



展示した作品は155点、会期中は秋晴れ好天に恵まれ、862名もの多くの方に足を運んでいただきました。区民の皆さんの文化・芸術への関心の高さを感じられた5日間でした。

新会員（IP絵画クラブ）が入会しました。モチーフに拘らない自由な作風の会で、今回15点の出品がありました。

栄区美術連盟 小華和絵記

手工芸展 (10/31~11/3)

リリス

来場者は、一点一点熱心にご覧になり、何人もの方々から担当者に作品についての質問や感想をいただき、活気のある作品展となりました。



デコパージュ、フラワーアレンジメント、押し花絵、布細工、粘土アートの体験教室にも多くの方々の参加があり、毎回楽しみに来てくださる方もいらっしゃって、会場は毎日にぎわっていました。入り口の展示も華やかに飾ることが出来、足を止めて見てくださる方も多く、好評でした。次回につながる有意義な4日間でした。

手工芸・SAKAE 佐野由美子

第30回記念美術家協会展 (11/4~11/8)

リリス

今回は記念行事として、絵画等の作品展(36名、60点)とミニチャリティーバザールに加え、幼児～小学生を対象に「みんなで描こういたち川」と題し、幅



1.4m×長さ10mの大キャンバス一杯に、イベントカラーを用いて子供たちに自由に、伸びのびと絵を描いてもらつた。

作品展の鑑賞者は880名と盛況で、子供たちの絵は、5日間で近隣から80名が参加、あつという間に大作が完成し、子供たちのエネルギーの大きさに驚嘆した。出来上った作品は、11/9から11/14まで区役所1階ロビーに展示し、区民の皆様にもご覧いただきました。

栄区美術家協会 関口照雄

生け花展 (10/19~10/31)

公会堂

栄区民芸祭を彩る生け花展を華やかに、栄区の花「菊」を迎え花とし、今年は小原流の担当者が展示しました。来場者からの嬉しいお言葉を励みに来年の区制30周年、栄区文化協会20周年に向けて努力いたします。



今回は栄公会堂で行われている「初めての華道教室」の生徒さんから男性の参加がありました。嬉しいです。

耳を傾けると緑豊かな栄区から、いたち川の水の流れと静かな鉄の音が聞こえてきます。

栄区華道協会 高橋理智

園芸展「盆栽・こけ玉・山野草」(11/1~11/3)

公会堂

いずれも超一流の実成り、小品～大型の盆栽、秋を感じる大文字草、野菊等の山野草、人気のこけ玉がたくさん展示されました。



特に初日は天候に恵まれ、スポーツセンターからの来場者もあり、かつてない多くの方々のご来場をいただきました。展示品の説明や栽培関係のご質問への対応、余剰苗の販売にと毎日おおわらわでした。

多くのお客様から「目と心の保養をさせていただいた」とのお言葉をいただき、会員一人一人の地道な努力と丹精が、皆様の気持ちの安らぎにも役立っているのだと、うれしく感じました。

栄区園芸協会 松澤淑雅

第30回栄区菊花大会 (11/1~11/11)

栄スポーツセンター前、本郷台駅通路

今年は異常な気候で、薔薇は1週間以上も早まりました。また、急に栽培出来なくなった役員がでて、スポーツセンターはもとより、本郷台駅



構内にも出品不足が心配されましたが、その菊を30鉢ほど皆で持ち帰って育てたりしました。その結果昨年を超える鉢数で栄区の花「菊」を通勤・通学の皆様や来場者に香りと花の魅力を堪能していただく事が出来ました。

なお、平成28年11月3日の栄区制30周年に向けて、「区の花『菊』」について、の特別な新企画を計画していますのでご期待ください。

栄区園芸協会栄菊花会 神田勝衛

礼法 (10/30~11/1)

公会堂

晴天にも恵まれた晩秋に今年は「重陽の節句飾りと十五夜飾り」



を展示し、ミニ教室では折形の「還暦祝い包み」等を行いました。懐かしさや物珍しさでお見えになる方や自身の生活に取り入れるべく熱心な方々、また、数人の小学生達は仕上げた折形を手に「来年も必ず来るね」とにこやかに帰られるなど有意義な日々でした。

日本の礼儀作法は過去の形式ばかりではなく現代にも行われ、また将来にも及ぼされるもので、社会の礎となる大切なものと感じました。

栄区礼法の会 前田菱紀

囲碁まつり (11/3)

公会堂

子供、高齢者、女性と幅広く囲碁愛好家が集い、対局者、スタッフ合わせて約180名が楽しい一日を過ごしました。



午前はクラス別個人

対局(約120局)、午後は公開対局(三段代表)をプロ棋士が大盤解説しながら、次の一手中クイズを出題、その後プロ棋士による直接対局の指導碁(20名)、別コーナーで個人対局(50局)を行いました。別会場では初級クラス(19路盤)、初心者クラス(13路盤)が対局しました。

いずれのクラスも成績のよかつた人は、賞品をもらい嬉しそうでした。

栄区囲碁協会 藤田 剛

お茶会 (10/31～11/1)

公会堂

今回のお茶会は十月末日と十一月初日の二日間でした。季節感とか行事を大切にするお茶では、初日は風炉の季節の終わりで名残の取り合わせ。翌日は炉の始めのお目出度い取り合わせでお客様をお迎えすることが出来ました。



和室に椅子の用意もできまして、気軽に立ち寄りいただけました。お茶室は堅苦しい所ではなく、お部屋の雰囲気、席中での会話、お道具の取り合わせ等、気軽にお茶にふれる機会をふやしてお楽しみ下さいます様次回もお待ちしています。

栄区茶道会 平野宗昌

《音楽・芸能》

合唱の祭典①②(10/17・18) 公会堂ホール

今年も「歌と緑の街・栄」の合唱の祭典は①②の二日間で延べ千百人以上の参加者を得て盛況のうち



に終える事ができました。「これぞ合唱!」という学校招待の生徒さん達、爽やかな少年少女、積み重ねた経験が滲む男声、女声、そして厚みのある混声。

そのどれもが芸術の秋に相応しい、美しく和やかで楽しいものでした。その歌声がテーマに沿った力作の緑のプラカードと花で飾られた公会堂一杯に響き渡った二日間でした。

合唱部門 今本眞理子

器楽の祭典 ①(11/7) 公会堂ホール

②(11/15) リリスホール

区内で活動する音楽サークルが集い、観て聴いて親しんでいただく器楽の祭典2日間、バラエティ豊かに開催された両日多数のお客様にご来場頂きました。

今春統合開校された上郷中学校吹奏楽は躍動感があるサウンドが高らかに響き心うたれました。合同演奏も力強く華やかなステージを繰り広げました。



初参加の4団体は、繊細で優美な音色、異国情緒ただようメロディー、明るくて爽やかな音楽を披露しました。各加盟団体は日頃の練習成果を存分に発揮して、秋のひと時を癒す大変素晴らしい演奏会となりました。

器楽部門 越後貫正敬

素敵なすてきなクラシックコンサート(11/3)

リリスホール

今年の「素敵なすてきなクラシックコンサート」は、フィギュアスケート名曲集を企画しました。昨



今の日本人選手の活躍は目覚ましく人気も高く、演技に用いた曲は、きっと耳にしたことがあります。記憶に残っていることでしょう。昨シーズンまでの5年間に絞り選曲しました。

選手達が氷上で舞ったように編曲し、一緒に滑っているような迫真の演奏をお届けできたと思います。

トリプルジャンプ、華麗なステップ、美しいスピングが見えたでしょうか。

リリスホール、満員御礼でした。

栄ソリスティ 中野恵子

シャンソンの夕べ(11/3)

リリスホール

シャンソンが大好きな仲間が集まりシャンソン同好会を発足してから、今回は18回目の「シャンソンの夕べ」となります。沢山のお客様にご来場いただき会員一同感謝しております。「シャンソンの夕べ」は、同好会にとって一番の大行事であり、会員それぞれが各指導者に付きレッスンを受けています。毎月1回の例会に仲間同士で発表し合い、楽しみながら切磋琢磨しています。



シャンソンは少し気取った歌と思われるがちですが、恋の歌・鋭い時事風刺・幻想的な歌・文学的な歌などがあり多様です。会員の思いを込めた歌声が皆さまの心に響き、感動して頂けたら幸いです。

さかえシャンソン同好会 福島正枝

栄フィル名曲コンサート(11/8) 公会堂ホール

雨天にもかかわらず、347名の方にご来場いただきました。



今回はメンデルスゾーン、ハイドンがイギリスを旅した時に作曲した3曲を演奏いたしました。目を閉じて聴いてくださったというお客様からは洞窟にいるような感じがし、波の寄せる風景が目に浮かんできた、と好評をいただきました。

イギリス旅行をしたときのことと思い出しながら聴いてくださったお客様もいらして秋のひと時、お客様と団員が一緒に、音楽の翼に乗ってイギリスへ思いを馳せた時間となりました。

栄フィルハーモニー交響楽団 成沢まり子

芸能秋の祭典(10/24・10/25)

公会堂ホール

10月24日午前10時、栄区民音頭で2日間にわたるステージの開幕でした。精進を重ねてきた多彩な舞踊、民謡、詩吟に華麗なフラダンスが加わるバラエティに富んだ出演で、会場



は大いに盛り上がりました。多数のお客様に大変喜んでいただき、私たちにも大きな励みになりました。フィナーレも栄区民音頭で演奏と唄と踊りが一体となって、にぎやかな閉幕でした。

今回は舞踊、民謡とともに子供さんの出演があり喜ばしいことでした。人数を増やして後継者を育てていきたいとの思いを強くしました。

芸能部 原田直真紗

さかえ邦楽の集い(11/3)

公会堂ホール

前日の雨も当日は晴天で、絶好の「文化の日」午後1時開演、演奏時間は約3時間と比較的短時間で終了となりましたが、内容は大変充実したもので、琵琶については、はつきりした唄い方で、とても分かりやすかったと言う感想を頂きました。



今回上手く演じられた人もそうでない人も、更なる上を目指し、精進して参ります。

栄区邦楽協会 角田操子

トピックス
さかえ陶芸協会 川井綾子さんの作品が、
福島復興イベントを応援します！



写真的鉢が、東日本大震災復興メッセージイベント「復興の祈り展 ふくしま2016」に展示されます。
福島の復興を応援します。

会場:コラッセふくしま(福島駅西口) 3F

会期:3月11日(金)~13日(日)

特集2 第20回さかえ春の文化祭イベント紹介 2016年2月17日～3月13日

『創作・教養』

フォトSAKAE写真展

2/17(水)～2/21(日) 10:00～17:00

リリス ギャラリー

写真好き5グループ70名が集まって開催する写真展です。栄区は中高年世代が最も元気な地域です。私たちも元気に活動をしています。それぞれのグループが個性豊かな作品を展示します。

栄区の見どころの写真も展示する予定です。

フォトSAKAE 野仲加津子

第16回栄区美術連盟展

2/24(水)～2/28(日) 10:00～17:00

リリス ギャラリー・会議室

栄区美術連盟は設立16年目になります。栄区文化協会20周年記念の年の「春の文化祭」に参加できることに喜びを感じています。日頃の成果を紹介する「美術展」を通して、会員間の親睦・交流を深めたく思っています。

栄区美術連盟 小華和絵記

第18回栄区書道協会展

3/2(水)～3/6(日) 10:00～17:00

リリス ギャラリー・会議室

栄区書道協会は本年、創立20周年を迎えます。その記念事業の一環として、先ず春の文化祭では、書や篆刻作品をあしらった、幾種類もの会員手づくりの栄を用意し、来観者などに贈呈することを計画しています

栄区書道協会 柳田煌海

第6回栄区美術家協会春季展

3/9(水)～3/13(日) 10:00～17:00

リリス ギャラリー・会議室

地元在住の日展および中央で活躍している作家達が、日常的に制作した30号～10号前後の中小の油彩画、水彩画、日本画、版画、工芸・彫刻、陶芸、七宝など約60点を展示の予定です。どうぞご期待ください。

栄区美術家協会 関口照雄

園芸展

3/11(金)～3/13(日) 9:00～17:00

栄公会堂 ホワイエ

春は木々や草花にとって一年の始まりの季節。盆栽同好会、蘭耀会（春蘭、山野草）、こけ玉普及会のメンバーが、一年間丹精込めて創り上げた作品を展示します。枝の芽吹きや草花の芽出し等、春の息吹きをお感じください。

栄区園芸協会 松沢淑雅

栄区民囲碁大会

3/13(日) 9:00～17:00

栄公会堂 1号・2号会議室

クラス別個人対局戦（4局）の中に隠れ団体戦を組み込んで、個人成績が悪くても団体戦で入賞の可能性がある楽しい内容になっています。

成績優秀者の中から横浜市各区対抗戦の栄区代表（6名）として出場して頂きます。

栄区囲碁協会 藤田 剛

体験お茶会

3/13(日) 10:00～15:00

栄公会堂 ホワイエ

お茶は堅苦しい、作法がむつかしい、などと敬遠されるむきもありますが、ご自身で美味しい薄茶を点てて、気軽に季節の和菓子とお抹茶を頂いてみませんか。「春の体験お茶会」へ是非、お立ち寄りください。おいしい点て方の手助けを致します。

栄区茶道会 平野宗昌

《音楽・芸能》(春の文化祭つづき)

芸能春の祭典 3/5(土)・3/6(日) 開場 9:30 開演 10:00 公会堂ホール

栄区文化協会 20 周年のイベントにふさわしい舞台を作りあげます。芸能部の中で舞踊、民謡、吟舞、吟詠のコラボを行うなど、皆様に楽しんでいただける演出を試みます。

栄区舞踊連盟・栄区舞踊協会・栄区民謡連盟

栄区吟剣詩舞会・栄区吟詠協会

原田直真紗

さかえ邦楽コンサート 3/6(日) 開場 12:30 開演 13:00 リリスホール

邦楽器は和のものですが、秋は「純和風」に、春は少し幅を持たせ、曲選びも、ごくポピュラーな曲を取り入れ、ご来場下さる方に喜んでいただけるように努めます。今年は春をテーマにした「演目」にいたします。

栄区邦楽協会 角田操子

春の音楽祭 3/13(日) 開場 13:30 開演 14:00 リリスホール

「うたいつごう 心に残る音楽を！」というテーマでコンサートを企画しています。それぞれの団体が、未来に向かって、歌い継いで行きたい音楽を、思いとともに演奏をお届けいたします。

栄区音楽協会 飯塚弘志

トピックス 華道吟が吟道大会のオープニングを飾る 栄区華道協会 志岐美玉
「御所車を彩る」吟で「花のまこと」の女性合吟が流れるなか華麗な生け花を実演！！

横浜岳風会の吟道大会において、吟詠の皆様の前で大小二台の御所車に和と洋の花を設えました。洋風はパンパス、鶴頭、南天を。和風には松、菊、つる梅もどきと格の高い花材を活けました。太い枝を壺に据えるのは工夫がいります。短い刻の中で吟の流れに導かれて久し振りに華道吟の深さを味わいながら…。

今、文化協会がコラボレーションを考えているなかで、このコラボが実現できたことは意義のあることだと思います。



あけましておめでとうございます 栄区文化協会賛助会員 (順不同、敬称略)

小菅ヶ谷連合町内会 自治会会长 田中 房一	柴崎内科クリニック 柴崎 洋一	(有)みのくち 長瀬 安敏	なかたクリニック 中田 智大	(有)カウベルコーポレーション 中村 進
鎌倉カントリークラブ 総支配人 田中クリス	上郷フィールドアスレチック 高橋 昭義	(有)久保田塗装工業所 久保田一彦	小菅ヶ谷町内会 会長 田中 房一	箏・三味線のぼる 根本 昌之
栄区飲食業同業組合 理事長 佐相 幸延	角田税務会計事務所 角田 晃孝	タクノ印刷 中森 孝久	(株)タツノ 龍野 廣道	(株)司地所 郡司 薫
特養老人ホーム上郷苑 篠原 正治	(有)豊田印刷所 金子喜久男	上郷町 長瀬 清子	(有)ナカムラ生花店 吉田 敬	野村医院 野村 武
(株)宮古寿司本店 楠 明	横浜銀行 本郷台支店	よこはま緑の推進団体 栄連絡会会长 榎本イク子	(有)よろい寿司本店 近江 清	(有)ライトスタッフ・スタジオ 森 雅宏
和菓子舗 龍月 鎌田 忠	横浜さかえ内科 中田 靖			

編 集 後 記

本号は文化協会設立 20 周年の新年号として、区長、会長のご挨拶。会長、副会長による文化協会の活動談義に加えて、特集 1、2 を掲載しました。ご覧いただき、ご意見、ご要望等をお聞かせ下さい。

さわやか第 49 号 新年号
平成 28 年 1 月 15 日発行
栄区文化協会会长 風間聰彦
編集 奥野知行 中田 健